

共に暮らす街



動機

最近AIを筆頭に凄まじい勢いで進化している。そのためデータセンターは新しい技術の作成や保管をするのに必要不可欠となっている。しかし、作るのに土地不足や住民の意見など、多くの問題がある。その問題を建築の観点で解決できないかと考えた

目的

街のシンボルになりながら、街に貢献出来るような建物を作る

仮説

- 利便性もあり、街のシンボルとなる
- 街のシンボルになることで地域の活性化につながる
- 上記により住民の反対等が少なくなり、データセンター等の施設が街に建設しやすくなる。

実際の反対意見



<https://share.google/KDygrFzxNCMGLPCXe>
<https://share.google/hFJbTAe6G4ToQrLv2>
<https://share.google/VSDwUmvIHq15zoPNa>

コンセプト



完成イメージ



建物概要

壁部分

- ・木材の格子を使い建物に深みを出している
- ・壁に植物をはやすことでコンセプトである切り株を再現するだけでなく、街の緑化に貢献する

屋上部分

- ・屋上に公園を作り、遊んだり街を一望したりできる
- ・芝生の公園にすることで見栄えが良くなり、緑化にもつながる

キノコ部分

- ・ヒートシンク（放熱板）データセンターの排熱を効率よく逃がすためのデザイン。
- ・ベンチをつけ、休憩スペースを作り通行人が雨宿りしたり、休憩したりできる公共スペースにする。
- ・ソーラーパネルを、キノコの傘の部分につけて発電し、夜間のライトアップに利用。

まとめ

この建築が社会や利用者にとってどのような価値を生むか

- ・スマートフォンやパソコンで触れるほぼすべてのデジタル情報は、データセンターの中で処理・保存される。このような施設があることによって身近に技術を感じ、社会のデジタル化が進むと考える。

この場所でどのような風景が展開されるか

- ・街の中に建設され、人々が集える空間となっているため、住民の憩いの場になる。また、近い将来は自動化された社会がこの場で展開されると考える。

最後に一番伝えたいこと

- ・建物の設計や使用法方を工夫すれば、その地域や建物の抱えている問題を解決に近づけることができる。賛成か反対ではなく、共存する方法を考えることの重要性を伝えたい。